



白雲谷温泉「ゆぴか」

第332回  
3月定例会

16年度予算・条例制定・人事案件など  
38議案を可決、同意する

主な内容

- ・一般質問..... 2～6ページ  
掘井算満・河島喜代美・吉田 茂・藤本修造・  
山中修己・加島 淳・竹内 修・鈴垣 元の  
8議員が26項目を質問
- ・議案質疑..... 6～7ページ  
川名善三・春名良兼・松本義博 の3議員が  
7項目を質疑
- ・予算特別委員会の審査..... 8ページ
- ・主な可決議案..... 8ページ

第332回3月市議会定例会は、1日から26日まで、26日間にわたり開催しました。

冒頭に、市長から「安全・安心のまちづくり」、「参画と協働のまちづくり」、「子育て支援のまちづくり」を重点項目に掲げた平成16年度の市政に取り組む所信の表明があり、続いて平成16年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計各予算、平成15年度補正予算、条例制定、人事案件、意見書案など38議案を原案どおり可決、同意しました。

## 二月定例会の一般質問発言者の項目

(発言した議員により  
編集されました。)

### 掘井 算満 議員

- ・奨学資金制度について
- ・里山整備基金の創設について
- ・保育園の安全対策について

### 河島 喜代美 議員

- ・女性消防団について
- ・救急業務に対する取組みについて
- ・幼稚園運営について

### 吉田 茂 議員

- ・大島町内にある出水(喜多嶋村出水  
江音中期頃より使用)の改修工事について
- ・小野中学校の改築工事設計について
- ・市民安全部の新設について

### 藤本 修造 議員

- ・区長会との連携、あり方について
- ・小野市民病院について
- ・鳥インフルエンザについて

### 山中 修己 議員

- ・水道部「お客様センター」の設置について
- ・「ゆとり教育」について
- ・加東市「誕生による広域行政の今後  
について
- ・大門橋周辺の道路安全対策について

### 加島 淳 議員

- ・加古川水系加古川(広島地区)河川改  
修事業について

- ・コミュニティバスについて
- ・学校における安全について

### 竹内 修 議員

- ・市民病院における超音波破砕機導入に  
ついて
- ・救命救急の現状について
- ・通学路の安全について

### 鈴垣 元 議員

- ・三位一体の改革の新年度予算及び今  
後への影響について
- ・児童虐待の現状と対応について
- ・コミュニティバス運行の見直しについて
- ・市長提案説明について

## 本会議を傍聴しませんか

議会では、市民に開かれた議会をめざしており、議場で本会議を傍聴することが出来ます。是非一度、お越しになり、臨場感を味わってください。

日 時	五月十三日(木)午前十時～
場 所	市庁舎五階 傍聴席
定 員	三十六名
主な内容	提案説明・役員選出
傍聴手続	先着順に傍聴券を交付します
Eメール	gikikai@city.onohyogo.jp



## 奨学資金制度の拡充について

**問** 制度の対象範囲を大学生まで拡充し、更に支給額についても、授業料、通学費の増高のあり、増額の必要性を感じるが、取組みについて伺います。

**答** 平成十三年度から年々認定者の増加を図り一定の成果は出ている。支給額についても、県及び日本育英会等制度が充実しており、市の奨学資金制度は、それらの補完的な制度であり、増額の考えはない。むしろ認定者の増加を図っていききたい。

## 里山整備基金の創設は

**問** 市で順次取り組まれている里山整備について、整備後の継続的な維持管理を適正に行うため、市民の参加と協働の里山整備基金の創設が不可欠と思うが市の考えを伺います。

**答** かわい快適の森においては、地

## 新生クラブ

掘井 算満 議員

元住民による森林ボランティア団体が育成され、すでに活動されております。市民の参加と協働を積極的に推進する観点から、森の緑や自然を大切にする主旨に賛同いただける企業や市民の自発的な運動による里山整備基金の創設を検討したい。

## 保育所の安全対策について

**問** 平成十六年度より、市内小学校、養護学校、幼稚園に安全対策として警備員が配置されるが、保育所は乳幼児と主に女性保育士でなら抵抗手段のない施設であり、小学校と同等の安全対策が必要でないか。

**答** 保育所の安全対策は、県警ホットラインの設置、門扉の閉鎖施設、保育士の防犯ブザー携行等防犯体制を整えています。さらに、安全対策を図るため平成十六年度から各保育所の警備に要する経費に対し、市が一定の限度額内で補助することとしたい。



### 新生クラブ

河島 喜代美 議員

りの住宅を訪問する等「日常活動主力型」を目指しております。

### 女性消防団員の活動について

**問** 女性消防団員は、どのような活動をされているのか。また、これらの活動のあり方についてお伺いします。

**答** 小野市の女性消防団員の主な活動は、消防大会、ふれあい消防等の消防行事への参加、火災予防等の広報活動、応急手当、心肺蘇生法の指導及び災害が発生した場合の後方支援です。

団員の中には小さな子どもさんのおられる家庭や仕事に従事しながらの活動であり、ご家族のご協力とご理解が不可欠です。

小野市の女性消防団は、誕生から三年ですが、今後の方向としては、女性の特性を生かした活動として、高齢者住宅の防火防災活動を「安心訪問」と位置付け、お年寄

### 幼保一元化について

**問** 最近幼稚園と保育園の運営を一体化したような一元化の運営をしたところがあると聞いておりますが、小野市ではどのように考えておられますか。

**答** 小野市では、民営の保育園が十四、公立の幼稚園が小野地区の二園であり、他市町のように幼稚園と保育園を統合して幼保の一元化を進めることは困難であると考えています。教育内容の点から見ると保育園も幼稚園化が進んでおり、実質的には幼保の一元化が行われているのと同様であるといえます。また、幼稚園に保育所機能をもたすことについては、民営の保育園の経営に大きな影響を与えることが予測されるので困難であると考えております。



### 民主クラブ

吉田 茂 議員

### 三百年の歴史を持つ「出水」の保存について

**答** 大島町内にある「出水」(喜多嶋村出水、江戸中期頃より使用)については、市といたしましては、古くから地域が培い守ってこられた「原風景」を、より地域のふれあいの場や憩いの場としての活用を図るため、その保存、改修方法について平成十四年度から地元大島町の役員会等を開催するなどして、地元の意見を充分に反映させて、本年度にその改修計画をまとめました。

**問** 女性達の洗い物をする姿は、湧水と共に心なごむ「風物詩」です。洗い場の設計はどのようになっていますか。

**答** 灌漑かんがい用水が流れるこの場所は古くから水がきれいなことで地域の女性達が野菜を洗ったり、洗濯をされる姿が見受けられます。こうした地域のコミュニティの場

を保存し、整備、改修することと致しました。

改修内容は、現在の洗い場から少し位置は変わりますが、周囲の景観に配慮した片勾配屋根の四阿(あつまや)を設置します。

### 学校等の耐震対策について

**問** 最近マスコミの報道等において、東南海地震、山崎断層地震も発生 of 確率が高いと報道されているが、学校等の安全対策、耐震対策は充分配慮されているか。

**答** 公共施設については、風水害地震等の災害時の災害対策本部及び避難場所に指定される重要な施設です。このような公共施設は設計基準で通常の建物よりも強い強度で設計するよう規定されています。学校施設については、通常の建物の一・二五倍の強度ですることとなっています。



市民クラブ

藤本 修造 議員

### 区長会との連携、

### あり方について

**問** 小野「夢プラン2010」のまちづくり、人づくりに向かって各地区のコミュニティセンターがどう組み込まれ、どのような役割を果たすものか。また、区長会とコミュニティセンター、行政との連携を、今後どのように展開しようとしておられるのか伺います。

**答** 平成十六年度に地域や団体が主体となる自主的活動を支援する地域コミュニティ活動の支援事業として、各コミセンに百万円、中央公民館に二百万円の予算措置をしました。この事業は市民が主体性をもって自らの地域課題や暮らしの課題を掘り起こし、その解決を図るため、地域住民の発想を生かし、互いに協力しながら各種活動を展開する事業であり、自分たちの地域を活性化し、より魅力

ある地域にするために、住民自らの知恵と努力で生み出していく地域づくり事業であります。この事業を遂行するにあたっては、まず各コミセン、中央公民館において、

区長会や、各種団体の役員の外、活動意欲のある人材を募集して(仮称)地域づくり協議会をつくっていただきます。

この(仮称)地域づくり協議会は各地区の区長会を中核としながら地域で活動する人たちと連携し、地域づくりを推進する自主、自立の組織となります。市ではこの協議会の自主的な活動を支援するために補助を行うと共に、コミセン等の職員がその活動をコーディネートして真に参画と協働による新しい地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

コミセンのめざす方向は「自分たちの地域は、自分たちの手で」という自主的、自立的な地域づくり推進団体の活動拠点としての役割を担っていくこととなります。



市民クラブ

山中 修己 議員

### 「加東市」誕生による広域行政の今後について

**問** 「加東市」誕生を契機に検討しておくべき課題及びその対処についての考え方をお聞かせします。

また、組合業務の見直し、整理・統合・再編なども視野に入れて、検討・提案をすべきと思いますが、市の考え方をお聞かせします。

**答** 加東郡合併に伴い影響のある組合は五つです。検討課題は一つには組合の議員定数、各委員会の定数割合、二つには、負担金の係数割合の見直し、三つには名称の見直し等が考えられます。

投資事業の負担割合については、現在の構成団体の負担を前提に行われてきたものであり、合併により、小野市の均等割の負担割合が引き上げられることのないよう、規約改定等に臨むべきと考えています。

組合業務の総点検については、

各組合の機能面の再構築を図っていく必要があると考えております。

今後各組合の事務量、行政目的等を検証するなかで整理、統合、再編、廃止も視野に入れ検討してまいります。

### 「ゆとり」教育について

**問** 平成十四年から始まった新学習指導要領は「ゆとり教育」を目指した政府の思惑とはうらはらに、学力低下を招きました。小野市としてはこの問題に対し、どのような対策をされているか。またその対策として、二学期制等の導入についての考えを伺います。

**答** 始業前の「計算タイム」「読書タイム」等で基礎学力を確立したり、「高学年で教科担任制」を導入したり、個に応じた指導体制を工夫しています。二学期制についてはメリット、デメリットがあり、単なる特色を出すための制度いじりにならないよう、現存の三学期制を維持していきたい。



## 広島・室山地区の 築堤について

**問** 進捗状況と今後の予定について

**答** 広島築堤は、榎山町、池尻町、市場町に事業説明会及び、地権者説明会を開催。榎山・池尻は一部を除き平成十六年一月に地権者と用地境界が確定。市場については境界確定の作業中である。用地買収が概ね完了した後、県道の付け替え工事を先におこない、その後築堤工事に取り掛かる。国土交通省で、早期完成を目指し取り組まれているが、用地交渉等の関係もあり完了年度は確定できないとのこと。

室山地区の築堤の予定は、平成十六年度に地形調査を行い、広島地区完了後に引き続き整備を進める計画。

新生クラブ

加島 淳 議員

榎山町広島地区の遠望



## 学校の安全について

**問** 四月から配置される警備員の活用方法について。

**答** 学校の安全を図るには、不審者を学校に侵入させないことが基本である。

そのため、警備員を校門に常駐させ、来校者の確認を行い、また、敷地内周囲を巡回させ、不審者侵入防止を図るとともに、校内に異常がないか確認をする。

今後、地域の人にも呼びかけ、警備員の補助員として活動していただく等、地域と連携して、子供の安全を守っていききたい。

## 市民病院泌尿器科の充実を

**問** 市民病院に「超音波破碎機」の導入を願う。

**答** 病院間の相互協力や役割分担が近年特に重要になってきており、北播磨の各病院で連携を保ち、特色を生かした病院経営を行っている。

現在、泌尿器科は週三日の非常勤体制であり、超音波破碎機を導入し入院患者受け入れの体制を整えておりません。したがって今のところ導入計画はありません。常勤の泌尿器科医師の確保に向け努力していく。

## バイスタンダーの育成を

**問** 救命救急において重要なバイスタンダー育成の充実を願う。

**答** バイスタンダー（その場に居合わせた人）に心肺蘇生法などの救急処



公明党

竹内 修 議員

置ができることは大変重要。

当市では市民救命士講習会等で、小野市の人口の二十％、または一人が市民救命士を目指す。

また、中学校において消防署や心臓外科医などの支援を受けて、「特別活動」や「総合学習」などを活用して育成を図る。

## 通学路の安全について

**問** 脇本町の県道と小野ニュータウンからの側道の通学路の安全確保と市内全域の通学路の危険箇所の点検強化・改善を願う。

**答** 脇本町の県道は、早急に溝蓋の設置等の安全対策をとる。

小野ニュータウンからの側道は通行時間規制が考えられるが、地域関係住民の総意が必要となる。

地域事情に詳しい区長や地域住民、PTA等の要望や意見を聞きながら、危険箇所の把握に努め、積極的に改善に努めていく。



日本共産党

鈴木 元 議員

### 「三位一体の改革」の新年度予算 および今後への影響について

**問** 平成十六年度の予算編成にあたって「三位一体の改革」はどのように影響したのか。今後の見通しは。

**答** 国庫補助負担金の廃止・縮減および地方交付税改革では、臨時財政対策債を含め、約四億一千万円の減額。これは、一般財源の三・二％に相当する大きな減収です。  
今後、平成十八年をめどに見直しが行なわれるが、具体的内容は示されていない。

**問** 小野市でも交付税算入の市単事業が行なわれてきたが、その事業数、市債残高とその内交付税によって措置される額はいくらか。  
その額については「三位一体の改革」の影響を受けないのか。

**答** 交付税算入のある市単事業は、ひまわりの丘公園事業等八十八件。

市債残高は、一般会計及び下水道事業等特別会計あわせて約四百一十億円。今後の償還にあわせて交付税の算入される予定額は、市債残高の五十六％にあたる二百三十一億円。  
「三位一体の改革」の影響は、従来通り措置されると理解している。

**問** 今後の重点施策の方向について伺います。小野市はこれまで、下水道事業ひまわりの丘公園、温泉ゆびか、シビックゾーン事業等、大型ハード事業を推進してきた。今後は、膨大な額にのぼる市債の償還を計画的に進め、財政の健全化を図るとともに、地域産業の振興、社会保障の充実、文化スポーツ施策の振興、市民の暮らし支援策等ソフト中心の施策が求められている。

**答** 現在、施設の完成や道路、水道の整備など都市基盤整備も大きな成果が得られた。今年度は、「安全・安心」「参画と協働」「子育て支援」を重点項目に、ハードからソフトへと方向転換を図った。

厳しい行財政環境ではあるが、市債の計画的な償還等財政の健全性を第一義に、更なる飛躍を図る。

## 議案の内容を聞く議案質疑

公明党  
川名善三 議員の質疑

(発言した議員により編集  
されました。)

### 平成十六年度小野市一般会計 予算について

**問** ひまわり園管理運営費の内、通園バス運行経費の具体的内容について。

**答** 第三百三十一回定例会での議員質問の答弁の通り、ひまわり園通所者への通所支援策としては、専用マイクロバスを導入し対応することが乗り降り時の安全確認や園外活動での利用なども含め、最も効果的な支援形態との判断から平成十六年度予算で対応しようとするものです。その内容は、二十四人乗りの車椅子対応リフト付きマイクロバス一台の購入予定予算八百四十万円、バスの運行管理に要する委託経費二百六十五万五千円、その他バスの登録料などの経費十一万七千円です。導入時期については、バスの仕様調整や通所者の乗り降り地点など運行ルートを詳細に定めた上で、現在のところ八月実施の予定です。

### 小野市青少年補導センター 設置条例の一部改正について

**問** 市民安全部設置後の小野市青少年補導センターの役割について

**答** 「世界一安全な国」といわれた日本の治安を脅かしている大きな原因の一つに「犯罪の増加」が挙げられます。中でも少年犯罪は、家庭学校、地域など青少年を育成する環境の変化に伴って、多発化・低年齢化・凶悪化が急激に進んでいます。

小野市青少年補導センターが所管する「青少年の補導」「青少年の不良化防止」など、その果たすべき役割は市民安全部設置後も変わりません。しかしながら、その緊急性・重要性が急激に増しているため、教育委員会部局から市長部局へ移行させ、防犯対策等、他の安全・安心対策業務と一元化することにより、今まで以上に効果の上がる業務遂行を図ろうとするものです。

日本共産党  
春名良兼議員の質疑

平成十五年度一般会計補正予算(第四号)の内容について

**問** 負担金補助及び交付金百五十九万四千元、及び扶助費四千二百二十九千円の減額補正の内容について

**答** 百五十九万四千円の減額内容は、精神障害者ホームヘルプサービス事業の利用者数を当初八名と見込んでいましたが、十五年度中の利用者が三名であり、グループホームの利用者がなかったことから減額するものです。

扶助費の減額内容は、身体障害者支援費等で千二百四十二万八千円で知的障害者・障害児支援費等で二千七百八十万千円の減額、十五年度から開始された支援費を予算措置していたところ、三月分の支払いが翌年度処理となり本年度は十一ヶ月予算で対応することによって一ヶ月分の支援費として身体障害費で五百五十九万二千円、知的障害で千七百八十九万九千円減額、これとは別にショートステイの利用が減少したこと、施設利用者の障害

程度の区分調査を行った結果、適用単価が見込みより下がり六百八十三万六千円を減額、知的障害者・障害児支援費も同様に更生施設やグループホーム入所者の単価区分が見込みよりも低くなり千六十一万四千円を減額。

**小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について**

**問** このたびオープンする、こだまの森公園内グランドゴルフ場の、維持管理はどこが行うのか。また、維持管理費はどの程度か。

**答** 運営管理経費として、受付・コース管理・植栽管理に一名配属する人件費、用具等初年度備品などあわせて約二百四十万円。

従来の維持管理経費は、この経費とは別に約二百七十万円の見込当管理は、こだまの森公園と同様に、財都市施設管理協会に委託する予定です。

市民クラブ  
松本義博議員の質疑

小野市の組織及びその事務分掌に関する条例、及び小野市青少年補導センターの設置に関する条例の一部改正の内容は

**問** 市民安全部の事務所掌が定められていますが、それぞれ具体的内容及び社警察・青少年補導センター・交通安全協会・防犯連絡協議会との協力体制と市民や地域団体との連携について伺います。

**答** 防犯に関することは、小野市防犯計画の策定、専門員四名による地域巡回パトロール、防犯灯の設置・管理、不法投棄防止対策などです。

また青少年補導に関することは、青少年補導センターが所掌する青少年の捕導、不良化防止と青少年問題に関する調査研究すること。交通安全に関することは、小野市交通安全基本計画の策定、交通

安全教育訓練、交通安全協会に関する事務など。

防災に関することは、地域防災計画、水防計画の策定、防災教育・訓練、災害備品の備蓄など。

その他安全及び安心に関することは、防災センター・防犯センターに関する調査・研究、国民保護法制に基づく国民保護計画の策定などの事務を行います。

市民生活における安全・安心の確保は、行政の重要な課題であり、団体や市民との連携・参画・協働は不可欠です。

新設される市民安全部は、縦割り型の行政を打破し、業務の一元化を図ることを目的としています。防犯・交通安全、青少年補導、防災の安全・安心に関する業務を一元化することにより、市民への情報の一元化と共有化及び窓口の一本化によるサービスの向上、さらに市民団体との協力・連携による危機管理体制の強化を図ろうとするものです。

## 今期市議会で可決された主な議案

### 市長提出議案

#### ・平成16年度予算

総額	378億6,100万円
《一般会計》	185億7,000万円
《特別会計》	101億7,400万円
《企業会計》	91億1,700万円

#### 【新年度の重点施策】

##### 《安全・安心のまちづくり》

専門員4名による地域巡回パトロール1,380万円、市内の全小学校、幼稚園、養護学校に各1名の警備員を常時配置1,840万円、消防車両の整備6,970万円など。

##### 《参画と協働のまちづくり》

地域コミュニティ活動の支援700万円、中間支援団体との協働及び同団体の運営・活動支援3,955万円、ガーデニングボランティアによる花の苗を生産するシステムの確立900万円など。

##### 《子育て支援のまちづくり》

育児ファミリーサポートセンターの開設830万円、幼稚園の4歳児定員増や給食の開始632万7千円、漢字・計算・体力検定の実施890万円など。

##### 《その他》

JR加古川線の駅周辺整備1億2,000万円、知的障害者通所授産施設「ひまわり園」に通園バス導入840万円、小規模作業所「第2コスモスの里」の整備支援1,600万円など。

- ・小野市助役の選任について  
榎山町244番地 井上嘉之氏を同意(新任)
- ・小野市収入役の選任について  
小田町396番地 小塩慶明氏を同意(新任)

### 意見書

- ・緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める意見書

## 予算特別委員会

藤原 健 委員長 鈴垣 元 副委員長

新年度予算一般会計、特別会計、企業会計総額378億6,100万円(前年度比7.1%減)の審査を3月16日、17日、22日に行い、その過程において、国民健康保険特別会計予算及び介護保険特別会計予算では反対討論がありました。

全ての予算は、採決の結果原案どおり可決すべきものとして、本会議で委員長から審査結果の報告を行いました。

審査では、市民の目線に立った行政を推進し行政を経営として捉え、行政に求められている「情報公開」や「説明責任」を果たし、市民との参画を図りながら、安全・安心のまちづくり、子育て支援のまちづくりに向けての方針が説明されました。

- ・市民が安全で安心して暮らせる生活環境を実現するため、防犯、交通安全、防災対策に取り組みます。
- ・学校での治安に対する不安が払拭できない現状から、小・養護学校、幼稚園の安全を図るため、警備員を常時配置し児童等の安全確保に努めます。
- ・平成16年度にはJR加古川線の電化事業は最終年度となり、それに合わせ、駅周辺事業に取り組みます。
- ・市制50周年を迎える節目の年であり、記念事業の取組みについてなど。

予算の積算は前年度の踏襲ではないか、合理化により財政の健全化及び福祉の向上をどのように図られようとしているのか、市民参画と協働をどう図りながら事業を推進していくのかなど、活発な意見・質問が出る中、慎重に審査を行いました。

また、各委員から市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる行政を目指し、さらなる市民サービスの向上に努め、魅力・活力・個性に富んだ「エクセレントシティおの」の実現のため市政を推進するよう要望しました。

(要望・意見の詳細は議会ホームページに掲載)



## 近畿市議会議長会表彰

近畿市議会議長会定期総会が4月13日開催され、役員として功績のあったことにより、井上熙議長・松本英昭副議長・横山四郎議員・吉田茂議員・掘井算満議員に会長から感謝状が授与されました。

## 5月臨時会の日程(予定)

5月13日(木) 午前10時 開会

提案説明、役員選出

議会運営や市議会だよりなどについて、みなさんからのご意見をお待ちしています。  
議会事務局 TEL63・1000 FAX63・4108  
Eメール gikai@city.ono.hyogo.jp